


## 一般質問通告書

佐野市議会議長 様

平成 30年 8月 29日	受理者印
午前 午後	11時 40分 受理 

議会名	平成 30年 第 3 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 9 番	氏名	亀山 春夫
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
質問方法 (いずれかを選択してください)	一問一答 ・ 一括質問一括答弁		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 佐野市民の健康増進について	<p>① 佐野市の高齢化率は平成 29 年度 28.9%となっておりますが、全国・県内ではどのような位置にあるのか。</p> <p>② 本市の出生率・死亡率の状況・推移は全国・県の中でどの位置にあるのか。</p> <p>③ 発生しやすい3大疾病「悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患」の発症状況・推移はどのような様になっているのか。</p> <p>④ 3大疾病による死因がもっとも高いとされておりますが、それぞれの部位別ではどのような様になっているのか。</p> <p>⑤ 死因分類の中で最も割合が高くなっている「悪性新生物(がん)の部位別では「胃」、「気管、気管支及び肺」「大腸」となっておりますが、その要因と注意点は、どのようなものか。</p> <p>⑥ 脳血管疾患では、県の割合を上回り男女ともに「脳梗塞」の割合が5割を超えている。このような事を理解して私たち一人一人が、今から出来る事は何か。</p> <p>⑦ 各種がん検診の受診状況をお聞きしておりますが、地域別ではどのような様になっているのか。</p> <p>⑧ 未病からの検診が特に重要であり、JA等との連携により受診率向上を図るべきではないか。また、検診個所を従前の様に地域の公民館やコミュニティセンターなど市民の利便性を考慮すべきと思うが、どうか。</p>		

## 2. 過疎地の高齢者交通手段について

- ⑨ 個々人が無理なく日常実施できるラジオ体操の普及に佐野弁のラジオ体操を独自に作成し、市民の体力の維持・向上、栄養吸収を良くする目的で取り組むべきと思うがどうか。
- ⑩ 佐野市民がより一層の健康増進を図り、平均寿命ワーストを返上するための決意はどうか。
- ① 高齢者の一人暮らしがなぜ増えているのか、高齢者意識調査は実施されているのか。
- ② 高齢者の一人暮らしが引き起こす問題はどのようなことがあるのか。また、どの様にすれば良いのか。
- ③ 高齢者の一人暮らしで地域公共交通路線から離れている場合には通院、買い物などの日常支援はどの様にすべきか。
- ④ 移動手段の支援が重要であります。地域公共交通で全てまかなえないと思います。合併前の旧田沼町では福祉ボランティア制度があり、通院等の送迎を行っておりました。今後、この様な取り組みは考えるのか。
- ⑤ 過疎地における高齢者が安心して移動できる環境整備が重要です。高齢者の移動手段確保のための「互助」による輸送が道路運送法の許可・登録を必要としない制度として「交通」と「福祉」双方の事業制度に整備された事についてどの様に考えるのか。
- ⑥ きめ細やかな公共交通サービスの充実を図っていく事が必要ではありますが、その一方で歩行距離の制約のある高齢者の生活実態や、公共交通機関の厳しい現状を鑑みると、ボランティア団体や地域の助け合い等による輸送サービスの提供も必要と思いますが、どの様に考えるのか。
- ⑦ 道路運送法の許可・登録を必要としない制度の運用・開発・提供をボランティアに頼るのみでなく地域還元のポイント制度などの導入等も含めて各担当部局で横断的に検討すべきと思うが、どう考えるのか。